

# 反応拡散系におけるパターン形成と漸近的幾何構造の研究

## 研究集会

京都大学数理解析研究所の共同研究事業の一つとして、下記のように研究集会を開催しますので、ご案内申し上げます。

研究代表者：坂元 国望  
(広島大学)

副代表者： 栄 伸一郎  
(横浜市立大学)

### 記

日 時：2003年10月15日(水)10:00～  
10月17日(金)16:00

場 所：京都大学数理解析研究所 1階 115号室  
京都市左京区北白川追分町  
市バス 京都大学農学部前 または 北白川 下車

### プログラム

10月15日(水)

- 10:00 - 10:50 桑村 雅隆(神戸大・発達科学)  
Turing patterns in gradient/skew-gradient dissipative systems
- 11:10 - 12:00 大下 承民(東大・数理科学)  
FitzHugh-Nagumo 方程式に現れる微細パターンについて
- 13:30 - 14:20 栄 伸一郎(横浜市大・総合理学)  
2次元帯状領域におけるパターンの運動
- 14:40 - 15:30 鈴木 宏昌(滋賀大・教育)  
周期的な反応を考慮した相分離モデルの定常パターンについて
- 15:50 - 16:40 大西 勇(広島大・理)  
A mathematical aspect for Liesegang phenomena

10月16日(木)

- 10:00 - 10:50 野々村 真規子(広島大・理)  
マイクロ相分離によるダブルジャイロイド構造の形成と安定性
- 11:10 - 12:00 寺本 敬(北大・工)  
非局所項を伴う勾配系におけるダブルジャイロイド構造
- 14:00 - 14:50 婁 本東(東大・数理科学)  
空間的な準周期性をもつ帯状領域における進行波
- 15:10 - 16:00 井古田 亮(九大・数理学)  
ネットワークパターンの安定性  
- 3重結節点をもつインターフェースの曲率駆動運動 -

10月17日(金)

- 10:00 - 10:50 矢崎 成俊(宮崎大・工)  
On an anisotropic area-preserving crystalline motion
- 11:10 - 12:00 高坂 良史(室蘭工大・工)  
Stability analysis of stationary solutions for surface diffusion flow equation
- 14:00 - 14:50 早瀬 友美乃(九大・理)  
Ir(111)表面上のCO酸化反応におけるノイズの影響
- 15:10 - 16:00 小林 亮(北大・電子研)  
真性粘菌変形体の運動の数理モデル

本研究集会は

科学研究費補助金 基盤 C(2) 課題番号: 12640217

課題名: 非線形発展方程式に現れる局在解のダイナミクス

研究代表者: 栄 伸一郎(横浜市立大学)

および

科学研究費補助金 基盤 B(2) 課題番号: 13554001

課題名: 材料科学におけるパターン形成の数理

研究代表者: 太田 隆夫(広島大学)

の援助を受けています。